

～七ヶ宿の山は宝の山～

七ヶ宿町の林業とバイオマスエネルギーを考える研修会を開催

6月17日に、七ヶ宿町開発センターを会場に「七ヶ宿町の林業とバイオマスエネルギーを考える研修会」を開催しました。町内の林業事業者や町議会議員、また森林管理所や宮城県の林業担当機関の職員など約30名の参加がありました。研修会では第1部の講演で、(株)富士通総研上席主任研究員の梶山恵司氏と(株)森林環境リアライズ専務取締役の石山浩一氏が講演を行いました。第2部では、パネルディスカッションを行い、七ヶ宿の林業とバイオマスの可能性を探りました。講演とパネルディスカッションの様子を紹介します。

【第1部】講演

●「七ヶ宿の眠れる宝の山ー森林とバイオマス」(株)富士通総研上席主任研究員 梶山恵司 氏



育てる林業から利用する林業へのポイント

- ・日本の木材の蓄積量は、ヨーロッパを凌ぐ量になっている。
- ・木を育てる林業から、木を持続可能に利用する林業へ転換する。
- ・施業を集約し路網を整備。利用間伐を一体的に進める。
- ・部門毎の人材育成（管理、現場、路網）が必要。
- ・森林組合と民間事業者との連携。

●「七ヶ宿林業活性化のキーポイント」(株)森林環境リアライズ専務取締役 石山浩一 氏

- ・林業経営の明確な目標を持つ
- ・森林組合は生産量・質の維持。人材確保、作業の機械化
- ・町は独自の販売先の確保、林業専用道などのインフラ整備
- ・山林所有者は林業への理解協力。長期投資の視点

【第2部】パネルディスカッション テーマ「これからの七ヶ宿林業・バイオマス」

●モデレーター 梶山恵司 (株)富士通総研上席主任研究員)

●パネリスト



石山 浩一

(株)森林環境リアライズ専務取締役)

木材を運ばないで使える方法がいい。木材のブランド化を考える方法もある。七ヶ宿の山は広葉樹が多い、広葉樹を育てる技術はない。ブランド化と若い人を林業に向かせることが活性化のポイントだ。



梅津 輝雄

(七ヶ宿町長)

森林の活用を実現したい。どのように展開するかプロジェクト化を図るのも1つの方法。関係機関が連携を取って1つの目標に向かいたい。自然豊かな町だからこそ自然エネルギーをキーワードにする。



高橋 茂美

(七ヶ宿町森林組合専務理事)

今後林産事業に積極的に取り組みたい。林家とユーザーを結びつけるコーディネイトすることが森林組合の役割。七ヶ宿の山の所有者は小規模で点在している。団地化するのに苦労するがそこを頑張り利益を林家に還元できるよう頑張りたい。



小山 真光

(古河林業(株)七ヶ宿林業所長)

持続的な林業経営をしなければならぬが、近隣に大口の需要家がないことが、この地域の難点。生産材の一部が地域内消費ができるようになると経営の一助になることから、バイオマス利用に期待したい。



今回で29回目を迎える「ならじで歩こう七ヶ宿」の参加者を募集いたします。

◎開催期日 8月24日(日)

- 参加料 4,000円(ならじ、昼食、通行手形、Tシャツ含む)
- 申込方法 参加申込書に必要事項を記載し、郵送又はFAXをするか、直接お電話にて申込みください。
- ※旅姿コンテストに出場される方は、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、足のサイズをご連絡下さい。
- ◆第1位から3位の方には賞状及び賞品があります。
- 申込締切 7月31日(木)
- ただし、600名になり次第締め切りいたします。

「ならじで歩こう七ヶ宿」役柄募集!

- あなたも時代衣装を着てイベントを盛り上げてみませんか?
- ・お姫様(女性)……1名
 - ・お側付き(女性)……1名
 - ・代官(男性)……1名
 - ・検札与力(男性)……1名
 - ・捕方(男性)……2名
- 募集要件 16歳以上の男女(高校生可・謝礼あり)
 - 募集締切 7月31日(木)
 - ※応募多数の場合は、役柄を調整させていただく場合があります。



山伏行列・採燈大護摩供を実施し、翌日の道中の安全を祈願します

- 日時 8月23日(土) 18:30~20:30まで
- 場所 七ヶ宿ダム自然休養公園

記念花火也大募集!

七ヶ宿火まつりに行われる花火大会。あなたの記念花火で夜空を彩ってみませんか? 結婚、出産、進学、誕生日等。内容はどんなものでも構いません。申し込みは1口 5,000円(ひとり何口でも結構です。) また、個人、グループでの申し込みでも構いません。



●お問い合わせ 七ヶ宿町観光協会(産業振興課内) ☎0224-37-2177 FAX 0224-37-2468